

権利擁護部会報告



柳原 康来氏

特定非営利活動法人チャレンジド理事長
愛知障害フォーラム 事務局次長

権利擁護のあり方について、様々な立場の人々で語り合い、仲間を増やしていく

今年度、緑区自立支援連絡協議会に新たな部会として、「権利擁護部会」が立ち上げられました！緑区の区政運営方針にも掲げられている「人にやさしい緑区」を目指し、障害のある方と一緒に地域を作っていくために発足しました。

記念すべき第1回目の講演会には、特定非営利活動法人チャレンジドの理事長であり、愛知障害フォーラムで事務局次長を務めている柳原康来氏をお招きし講演会をおこないました。

先天性の脳性麻痺の障害を持つ柳原さんからは、当事者目線での地域での暮らしや当たり前の権利についてお話がありました。特に強く伝えられたのは、地域での「対話」があり、そこから「人権意識を深化」させていくことが大切であるということです。



後半は交流会を行いました。当事者、当事者家族、福祉サービス事業所など横断的につながり、さまざまな意見が活発に交わすことができました。アンケート結果からは、参加されたすべての方が何らかの刺激を受け「人権」について考える機会となりました。

今度も「権利擁護について考える緑区自立支援連絡協議会」を目指し、誰もが暮らしやすい緑区を作るためのメンバーを増やしていきたいと思えます！

■アンケート結果より

「本人の意思を尊重し対話をこころがける。また、自分の意見を述べる事により、本人の意見につながる。」(当事者家族)

「様々な立場の人々で語り合う」ことなどコミュニケーションをとりつづける。一度だけでなく何度でも語り合うという話はとても納得できました。」(ピアサポーター)

「権利は守るものではなく、当たり前に行使できることがとても大きな気づきでした。」(相談支援)

「幼少から当たり前に障害のある方と関わりがある環境が大切」(GH)

「障がいの思い軽いかかわらずひとりひとりの人間としてその人らしく生きていくことの大切さを感じます。地域の医療、福祉のネットワーク作りが緑区にもできるといいなあと思います。」(当事者)